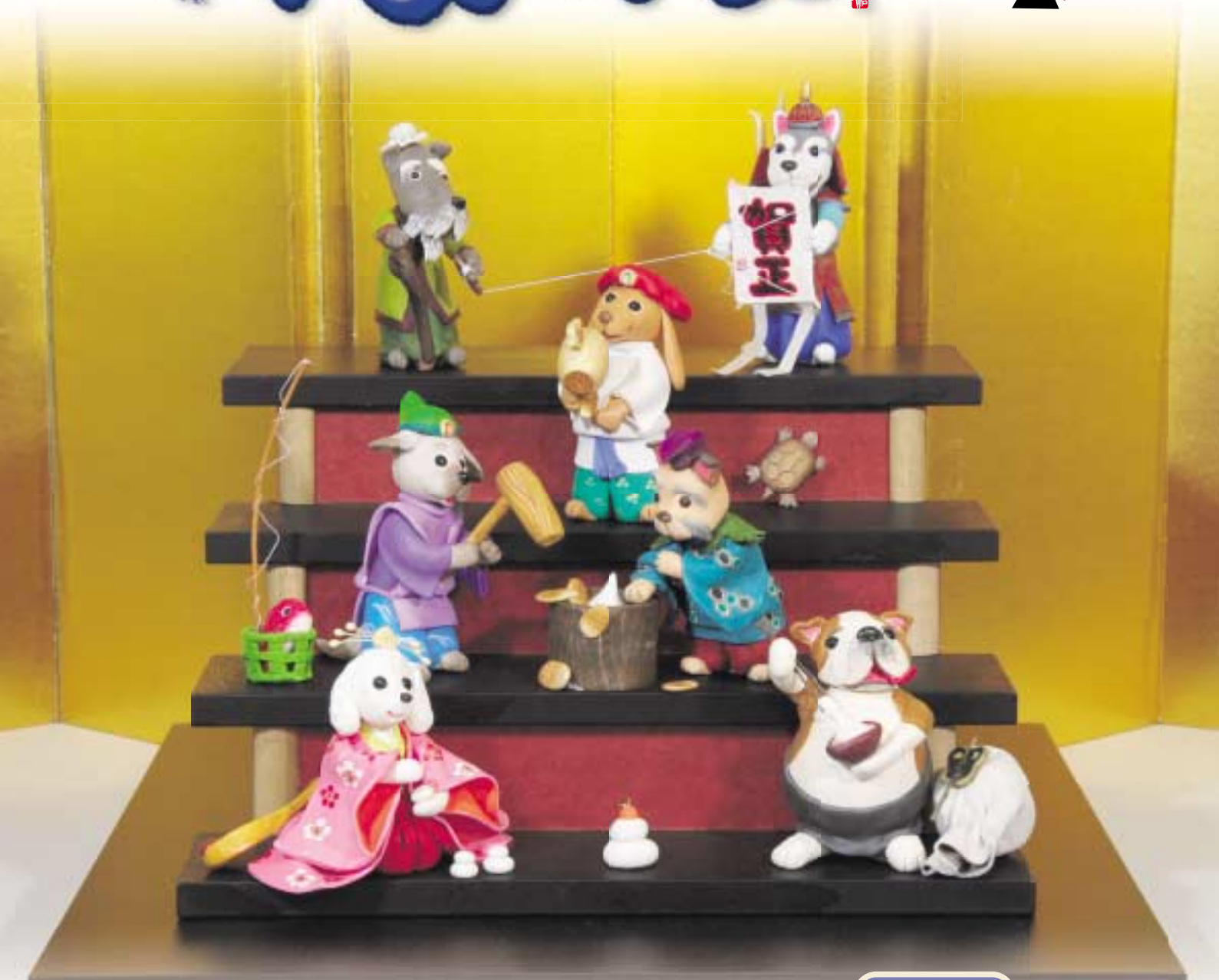
市報とおかまち
平成18年（2006）January　第19号
TOKAMACHI
1.10

だんだん

迎春



七福犬!?

今年は戌年。七福神に扮した七匹の犬からもちつきをしてもらいました。このもちのように、真っ白で粘りのある年にしたいですね。「七福犬」は、紙粘土細工にアクリル絵具で彩色したもので、福崎礼子さん（上原）が20日間かけて制作したオリジナル作品です。

主な内容

- 成年生まれの人に聞きました 2-5
- 地域医療シンポジウム 十日町病院と地域医療 …… 6-7
- 新潟県中越大震災義援金配分を報告します …… 8-9
- 地域の風～支所からのたより～ …… 10-11

愛称「だんだん」は、方言のあいさつ「だんだんどうも」、「河岸段丘・棚田」、「ステップアップ」などを表しています。

2006年は私たちの年 戌（いぬ）年生まれの人に聞きました

今年は戌年。十二支でいうと11番目の干支です。

ペットとしても猫と並んで親しみのあるのが犬。市内では現在約2,400頭の犬が登録されており、およそ８軒に１軒が犬を飼っていることになります。

戌年生まれの皆さんに、今年にかける思いを一筆書いていただき、抱負などを聞きました。

十日町市長
田　口　直　人
昭和21年生まれ

市民の皆様、明けましておめでとうございます。

平成18年、私たちの十日町市は、新たな時代にその第一歩を歩み出しました。

私は、新市の活力創造の取り組みとして交流・環境・教育・健康・協働の「５Ｋ」をキーワードとし、また、「震災の復旧から復興」へ向け、「安心・安全のまちづくり」に全力を挙げて取り組んでまいります。今回で３回目となる「大地の芸術祭」も楽しみです。人と自然が一体になった「アートのまちづくり」に、引き続き大勢の市民の皆様からご参加いただきたいと思います。

さて、プライベートの私は今年還暦を迎える戌年生まれの年男です。達者で60歳を迎えられたことに、ただただ「感謝」です。今年は、日ごろの運動不足を解消するために、スポーツで汗を流したいと思っています。手始めに、市内６か所のスキー場すべてをまわってみたいと思います。ゲレンデで見かけたら声をかけてください。いっしょに滑りましょう。

大雪で明けた新年ですが、皆様にとりまして平穏で幸多き年になりますよう心からお祈り申し上げます。

一歩一歩前へ

櫃間瑠奈さん
平成６年生まれ
（伊友）

小学校２年生のときに友だちに誘われてバレーボールを始めました。１週間に３回、川西総合体育館で練習しています。大会に出たときや練習のときのゲームが楽しいです。ポジションはバックレフトです。もっと練習して、レシーブがうまくなりたいと思います。去年の大会では１回戦で負けたので、今年はもっと上を目指します。

６年生になったら、算数を頑張ろうと思っています。児童会では運営委員会に入って、あいさつ運動を一生懸命やりたいです。あと、家のお手伝をしてお母さんを助けてあげたいな。

バレーボールの大会で優勝したいです。

倉沢明里さん　昭和45年生まれ　倉沢洋一さん　昭和45年生まれ
倉沢宏平さん　平成６年生まれ　（城之古第３）

健康第一で一年頑張りたい

洋一さん

マイホームづくりを実現させたい

明里さん

野球をがんばりたい

宏平さん

洋一さん…２人の子どもがスポーツを頑張っているので、親として応援・協力し心身共にバックアップしてあげたいと思いますね。子どもたちが頑張っている姿が心の支えです。だから子どもたちに負けないよう仕事も頑張ろうと思います。

明里さん…今年に限りませんが、スポーツに親しんでいつまでも若々しくいたいです。古い我家が、震災で傷んだので、なんんとかしたいですね。住みやすいマイホームが欲しいなあ。

宏平さん…野球とアルペンスキーを頑張りたいです。今年は６年生になるから下級生を引っ張って中越大会出場を目指したいです。将来はイチローみたいになりたいなあ。中学生になっても続けていきたいです。

村山祐一さん
昭和33年生まれ
（上川手）

二〇〇六愛鳥年間

毎年春に開かれている「松之山探鳥会」が今年50回という大きな節目を迎えます。私が野鳥好きになったのは、20数年前にこの会に参加したことがきっかけでした。それまで見えなかった新鮮な世界が、衝撃的に目の前に開けました。それ以来、もっと知りたいと思う気持ちが続いています。

野鳥愛護会では、今年６月に記念探鳥会の開催を計画しています。この記念すべき年を、私は「2006・愛鳥年間」として、野鳥や自然とのふれあいをさらに深める一年にしたいと考えています。

廣田ヨシ子さん
昭和21年生まれ
（高道山）

健康一番

今、「チビ」という名前のネコを飼っています。台所にいるときも眠るときも、いつもそばから離れず家の中ではずっといっしょです。特別に健康のためにやっていることはないですが、ストレスを溜めないように気をつけています。休みの日は買い物に出かけたり温泉に行ったりしてリフレッシュしているのがいいのかもしれません。

今いちばんの楽しみは、離れて暮らしている孫に会うことです。孫はかわいいですね。健康だからこそいろいろなことが楽しめるのだから、今年も健康で過ごせる年になりますように願っています。

相田ギンさん
大正11年生まれ
（大荒戸）

健康第一

旅行が大好きで去年は２回も出かけました。今年も６月に旅行の計画があり、仲間と楽しみにしています。冬の楽しみは、近所に住んでいる姉の家や友だちの家に集まってお茶飲みをすることです。

夏は畑でいろんな野菜をたくさん作っています。横浜や東京に子どもたちがいるので野菜を送っていますが、みんなが喜んでくれます。松之山での生活を心配して都会でいっしょに暮らさないかと言ってくれますが、私は大荒戸が好きで離れたくありません。そのためにも今年も「健康第一」で過ごしたいと思っています。

市川春美さん
昭和45年生まれ
美乃里さん
平成６年生まれ
（犬伏）

笑笑

長女の美乃里と親子２代で戌年です。娘と話をしていても世代の差は感じません。そう思っているのは私だけかな（笑）。この子が生まれたとき「お母さん」の言葉に重さを感じました。ちゃんとできるかなって。でも、いっしょに成長すればいいんだと思って、子育てをしているうちに、なんてすてきな言葉なんだろうと思うようになりました。やっと私も自分の母親の気持ちがわかってきた気がします。三度目の干支は仕方ないけど、優しい夫と親子４人で、今年もすてきに思い出を重ねたいですね。

村山ヒロノさん
昭和９年生まれ
（新宮１）

生涯青春

今から７、８年前になりますか。あるきっかけでフラダンスを習い始めました。音楽が苦手な私にも無理なく入れ、適度な運動で楽しく健康づくりができるのでのめり込んでしまいました。ストレス解消にもなりますしね。現在は、18人の仲間と２週間に１回水沢公民館で練習しています。ときどき十日町や中条の教室に講師のお手伝いに行っています。今年は３教室合同発表会や、ボランティアで施設めぐりをやってみたいです。目標ができることで張合いになり、練習にも熱が入りますから。

上原正文さん
昭和57年生まれ
（上山）

平和

生まれ育った地域が好きで、地元に残りました。今、家の商売を手伝っています。地区の消防団に入団していて、それを通じていろいろな人と出会え、さまざまなことを教わりました。慣れない訓練は大変ですが、少しでも地域の役に立てるならと思い頑張っています。今年、自分と同じ戌年に子どもが生まれます。どんな父親になろうとか、どんなことをしてあげようとか、まだわからないけれど、家族を大切に楽しく過ごしたいです。それと、生まれてくる子どものためにも平和な年であってほしいです。

高橋英雄さん
昭和９年生まれ
（学校町）

土に生きる

干支を六巡したことになりますが、特別大きな夢や希望はあまりないですね。でも、70年間親しんできた農業は捨てがたいです。昨年大きな病気をして以来、体力の衰えを感じ、水田を減らして畑作に専念しようと考えています。まいた種から新芽が出、朝露を浴びて成長していく様子を見ることが、何ものにも変えがたい楽しみです。安心安全が基本。できるだけ農薬を控えた新鮮な野菜が食卓にのぼるのが、やはり農家にとって至福のときです。ナスの濃紺、トマトの鮮やかな朱、キャベツの歯ざわりを今年は夢みています。

樋口裕美さん
昭和57年生まれ
（桑原）

今できる事を精一杯

震災をきっかけに、地元出身のアコースティックポップデュオ「ベストパートナー」を応援しています。応援活動を通じて、地域・年齢・職業を超えて多くの人たちと出会えたことが私にとって財産になりました。ベストパートナーが１番大切にしている「人と人とのつながり」を私も大切にしていきたいです。たくさんの人たちに彼らの歌を聴いてほしいから、今できることをしたい。十日町を踏み台にしてメジャーデビューしてくれることが夢です。個人的には、そろそろ「人生のベストパートナー」を見つけようかな（笑）。

岡村美佐子さん
昭和33年生まれ
（南鐙坂）

“Noと言える日本人”は一旦終わらせ、今年は自分を取り巻くさまざまな要望や期待に「よしよし、そいだっけば私がするこっつぉ」と、笑顔で“Yes”の年にしたいと思っています。それが想定外の可能性をグーンと広げてくれるはず。相手が何を求めているか知ることが、自分の発展につながるような気もします。

戌年らしく超安産で産んだ娘（大学１年）と息子（小学４年）の成長に、夫の経営する塾の仕事に、初めて英語と出会う子どもたちに、コロコロまとわりつく、忠犬ハチ公ならぬ忠犬パティ公になります。

笠原益雄さん
大正11年生まれ
（小荒戸）

眞実一路

毎朝１時間ほどかけて新聞を読むのが１日の始まりです。ニュースも欠かさず聞いています。いくつになっても社会の動きに気を配ることが大事だと思うし、現在の社会に自分としての意見を持つことで今を充実できると思うからです。おかげで目も耳も現役そのもの。本当に親に感謝します。趣味で大正琴、習字、切り絵をやっています。出来上がったものをみんなに見たり聞いたりしてもらうのが張合いです。年の暮れにしめ縄で宝船を結って知人に配るのも楽しみの一つ。世話になっている人たちへの感謝の気持ちです。

地域医療シンポジウム

十日町病院と地域医療

地域医療シンポジウム「十日町病院と地域医療について」（十日町市・生命が守れる病院をつくる会主催）が12月18日㈰にクロス10で開催されました。シンポジウムでは、最初に県立十日町病院の塚田芳久院長が「十日町の安全・安心の医療」と題して基調講演を行いました。引き続きパネルディスカッションが行われ、コーディネーターと５人のパネリストが十日町病院と地域医療について熱い議論を交わしました。内容を抜粋してお伝えします。

基調講演

「十日町の安全・安心の医療」

県立十日町病院院長　塚田芳久氏

地震後、十日町病院そして地域医療に対して不安を感じている人が多くいると思われます。これを機会に、皆さんに正しい情報を伝えて疑問に答え、安全・安心の医療につなげていきたいと思います。

十日町病院は私がこれまで勤務した病院に比べても非常に良い医療、県内で上位に入る診療を行っています。医療サービスの基本である医療技術では、特に外科の手術の件数が多く、麻酔医師との高レベルの連携がないとできない高齢者の手術などは全国トップレベルにあります。救急医療も県内の二次医療の中でも上位に入っており、技術的にこれほどそろっているところはほかにありません。この医療水準は維持していかなければならないと思います。

一般的に、二次救急を確保し24時間対応するためには40人の医師が必要です。十日町病院は現在27人体制ですが、休日・夜間の時間外救急が年間1万2、000人弱にものぼり、新潟市民病院に匹敵する数となっています。中でも小児救急は2人の医師で4、000人弱を診ています。全国的に小児科や産科の医師が不足している状況の下、ここ十日町は地元医師会の協力もあって充実しており、恵まれたものとなっています。

十日町病院の累積黒字は約2億円弱で、県立病院の経営に貢献しています。これからは、県立病院5番目の急性期病院（紹介率30％以上、在院日数17日未満）や県立病院4番目の管理型臨床研修病院を目指していきたいと考えています。このためには、今後は医療の機能分担が必要です。十日町病院は、一般救急ができ、小児科・産科などの周産母子医療もできる地域中核病院として、病床稼働率90％を目指します。

近年、医師に求められるものは、技術だけではなくなってきました。これからの医師は、患者とのコミュニケーション、患者の満足度などを大事にしていかなければならないと考えています。

医療は住民が作り、地域が育てるものです。地域医療は、患者と医師がいっしょになって作り上げていくことが大切です。市民の皆さんも予防に力を入れ、かかりつけ医師を見つけていただくなど、いろいろと協力してください。地域の少ない医療資源を生かし、効率的な地域連携を作り上げていきましょう。

パネルディスカッション

大熊――今の十日町病院は元に戻しただけです。地元医師会としては新築を希望しますが、手直しの改築でもかまわないので県には震度7でもびくともしない病院を期待します。

十日町病院の運営は県営が望ましいですが、独立行政法人や公的病院の民営でも止むを得ないと思います。新築することになれば、松代病院を含めた規模も大事な問題です。十日町病院は、魚野川すじの基幹病院とネットワークを組み、中核病院として救急医療のレベルを落とさないでほしいです。

山本――中越大震災は、十日町が陸の孤島であることを如実に現しました。十日町の地理的特殊性と病院の惨状です。現在、二次医療は三魚沼でくくられていますが、これは地理的に無理があります。

十日町地域の社会的共通資本のトップは十日町病院です。県立病院の中では、十日町病院は健全です。十日町病院は、やはり県営でいくべきでしょう。

「健康・医療・福祉」これが充実しているところに人は住みたくなるのです。

関口――健康が一番お金がかかりません。今後はもっと高齢者が増え、医療費や介護費がかかるようになります。これからは、介護されなくてもいい自立した高齢者を増やすことが大切です。一度ついた生活習慣を変えることはとても大変ですし、病気にならないように生活改善してもすぐには効果は上がりません。医師の一言は効くので、病院など医療機関といっしょになって取り組んでいきたいと思います。行政も「健康」を地域づくりに生かしてほしいと思います。

田口――十日町病院が災害拠点病院として機能しなかったということは役割を果たしていないということです。これだけ広い面積の三魚沼に病院一つだけではすべてクリアできません。高度基幹病院は魚野川沿いになりますが、今の十日町病院の機能を落とさないことを求めます。十日町病院は原則県立県営ですが、公設民営も考えてもいいのではないでしょうか。どこが経営しても、今の機能・医師などを維持してもらいたい。ダメだと思う変革には「ノー」と言います。

高橋――とにかく十日町病院は県営でいってもらいたいです。何と言っても黒字なんですから。県立の火は、絶対に消してはなりません。

県は、新潟市や長岡市、上越市など民間と競合している県立病院の統廃合を考えるべきです。山間地の医療のことを考えれば、この地域の県立病院をつぶすなんてできないはずです。

阿部――最近、「官から民へ」という言葉をよく聞きます。しかしその場合、守らなければならないものがあります。「命・財産・人権」です。それが保証されない限り、官から民へ移してはならないのです。病院はその典型です。安心・安全な医療が本来の姿です。不採算部門を安易に切り捨ててはなりません。

万が一病気になった場合、だれでも安心・安全で質の高い病院にかかることを望みます。ぜひ十日町病院にはこういう病院になってほしいと思います。そのためには、市民の皆さんの強力なバックアップが必要です。

パネルディスカッション参加者

コーディネーター

阿部洋輔氏（元日本経済新聞社総理事、現十日町市総合計画審議会委員）

パネリスト

大熊達義氏（十日町市中魚沼郡医師会会長）

関口陽子氏（エリア・ドゥ21フィットネスコーディネーター）

田口直人（十日町市長）

高橋孝男氏（生命が守れる病院をつくる会会長）

山本　保氏（上越地域総合健康管理センター医師）

新潟県中越大震災
義援金配分を報告します

新潟県中越大震災の被災者に対するお見舞金として、全国から多くの義援金をお寄せいただきました。十日町市（旧５市町村含む）に寄せられた義援金は約２億9,921万円、新潟県から配分を受けた義援金は24億7,603万円となっています（いずれも17年12月31日現在）。寄託者の皆様には心より御礼を申し上げます。

寄せられた義援金については、被災者の皆さんへ配分が終了しました。結果をお知らせします。

義援金の配分

寄せられた義援金は、旧５市町村が設置した義援金配分委員会において配分計画を決定し、被災者の皆さんへ配分したものです。…〈表１〉

新潟県からの受けた第１次配分は、新潟県義援金配分委員会において配分計画が決定され、被災市町村が配分したものです。…〈表２〉

また、新潟県からの受けた第２次配分は、旧５市町村の配分委員会において配分計画を決定し、配分したものです。…〈表３〉

それぞれ被災程度も異なることから、一律の配分ではなく、工夫された計画となっています。

基金の処分

旧十日町市で受け入れた義援金のうち、「災害支援基金」及び「復興教育文化支援基金」に積み立てた額は、新市においてその目的を達成するための経費に充てます。

問合せ　義援金配分事務局（財政課内）
☎757-3111（内線220）

〈表１〉

【十日町市（旧５市町村）が受けた義援金の配分】

（単位：万円）

内訳 ＼ 旧市町村名		十日町市		川西町		中里村		松代町		松之山町	
		件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額
人的被害	死者	8人	160	1人	20	－	－	－	－	－	－
	重傷者	55人	550	14人	70	－	－	－	－	－	－
住宅被害	全壊	100世帯	3,000	5世帯	400	－	－	－	－	2世帯	40
	大規模半壊	150世帯	3,000	6世帯	240	－	－	－	－	－	－
	半壊	876世帯	8,760	81世帯	810	8世帯	80	3世帯	75	－	－
	一部損壊	－	－	1,557世帯	1,557	653世帯	653	350世帯	273	90世帯	360
	上記以外	－	－	558世帯	279	890世帯	445	－	－	14世帯	28
宅地被害	大	－	－	14世帯	560	－	－	－	－	－	－
	中	－	－	6世帯	60	－	－	－	－	－	－
その他	避難勧告継続仮設住宅入居	－	－	21世帯	63	－	－	－	－	－	－
	ボランティア団体	－	－	1団体	8	－	－	－	－	5団体	40
	被災集落	－	－	－	－	－	－	1集落	10	－	－
	地域コミュニティ	全地域	1,444	－	－	－	－	－	－	－	－
	福祉施設	29施設	1,330	－	－	1施設	220	－	－	－	－
	仮設住宅	102世帯	732	－	－	－	－	－	－	－	－
	学校・教育振興会	－	－	－	－	3施設	87	－	－	－	－
	母子家庭ほか生活弱者	－	－	－	－	236人	118	－	－	－	－
	県第二次配分加算	－	－	－	－	－	－	－	257	－	－
	基金設置	災害支援基金　3,868		－	－	中里地区地域振興基金 300		－	－	－	－
	その他	－	－	－	24	－	－	－	－	－	－
計		2億2,844		4,091		1,903		615		468	

【義援金受入額】

（単位：万円）

内訳 ＼ 旧市町村名		十日町市	川西町	中里村	松代町	松之山町	合計
県義援金	第１次配分額	11億2,950	1億1,570	3,530	1,825	850	13億0,725
	第２次配分額	10億1,034	1億0,269	3,168	1,642	765	11億6,878
市町村義援金独自受入額	（件数）	(5,332)	(528)	(623)	(115)	(29)	(6,627)
	金額	2億2,844	4,091	1,903	615	468	2億9,921
合計		23億6,828	2億5,930	8,601	4,082	2,083	27億7,524

〈表２〉

【新潟県義援金第１次配分】

内訳 ＼ 旧市町村名		十日町市		川西町		中里村		松代町		松之山町		合計	
		(人･世帯)	(万円)	(人･世帯)	(万円)	(人･世帯)	(万円)	(世帯)	(万円)	(世帯)	(万円)	(人･世帯)	(万円)
人的被害（人）	死者	7	140	1	20	－	－	－	－	－	－	8	160
	重傷者	55	550	14	140	1	10	－	－	－	－	70	700
	計	62	690	15	160	1	10	－	－	－	－	78	860
住家被害（世帯）	全壊	100	2億0,000	5	1,000	－	－	－	－	2	400	107	2億1,400
	大規模半壊	150	1億5,000	6	600	－	－	－	－	－	－	156	1億5,600
	半壊	876	2億1,900	81	2,025	9	225	3	75	－	－	969	2億4,225
	一部損壊	11,072	5億5,360	1,557	7,785	659	3,295	350	1,750	90	450	13,728	6億8,640
	計		11億2,260		1億1,410		3,520		1,825		850		12億9,865
合計			11億2,950		1億1,570		3,530		1,825		850		13億0,725

〈表３〉

【新潟県義援金第２次配分】

（単位：万円）

内訳 ＼ 旧市町村名		十日町市		川西町		中里村		松代町		松之山町	
		件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額
住宅被害	全壊	100世帯	4,000	5世帯	400	－	－	－	－	－	－
	大規模半壊	150世帯	1,500	6世帯	240	－	－	－	－	－	－
	半壊	－	－	81世帯	810	9世帯	202	3世帯	3	－	－
	一部損壊	－	－	1,557世帯	5,917	659世帯	2,966	350世帯	350	－	－
	軽度被害	－	－	554世帯	2,105	－	－	76世帯	76	－	－
宅地被害	甚大	－	－	10世帯	400	－	－	－	－	－	－
	大	－	－	2世帯	40	－	－	－	－	－	－
	中	－	－	4世帯	40	－	－	－	－	－	－
法人事業所（半壊）		－	－	3事業所	75	－	－	－	－	－	－
商店街振興組合等見舞金		15組合	832	－	－	－	－	－	－	－	－
長期避難世帯見舞金		30世帯	600	－	－	－	－	－	－	－	－
被災見舞金		12,815世帯	8億9,705	－	－	－	－	1,375世帯	1,375	－	－
全世帯の世帯主		－	－	－	－	－	－	96世帯	96	－	－
高齢者などの要援護世帯		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
集落配分		－	－	54集落	242	－	－	－	－	35集落	765
復興教育文化支援基金		－	4,397	－	－	－	－	－	－	－	－
計			10億1,034		1億0,269		3,168	1,900（町加算分257含む）			765

湯米心（ゆめごころ）まつのやま

松之山支所
☎596-3131

平成17年度の「名老百選」決定！
新たに8人が誕生

12月6日㈫、松之山地域名老百選の集いが植木屋旅館で開催され、新たに名老に認定された8人に認定証が手渡されました。

この事業は、昭和63年の町制施行30周年事業の一環として始まったもので、今年で18年目となります。『名老』とは、おおむね70歳以上の高齢者でそれぞれの道で活躍している人を顕彰し、今後の活躍と良き指導者として後継者の育成にあたっていただこうというものです。また、高齢者が歩んできた人生に誇りと生きがいを持っていただこうと制定されました。12月15日現在、74人が名老として元気に活躍しています。

新名老に認定された人は、次のとおりです。

※敬称略、氏名（住所）認定部門順に記載

◇小野塚サク（松之山）舞踊
◇小野塚恒平（光間）ゲートボール
◇村山悦夫（上川手）歴史・風土・文化活動
◇佐藤正夫（天水越）桶作り
◇久保田義数（下川手）わら細工・竹細工
◇村山林平（湯本）スポーツ振興・スキー
◇久保田茂作（新田）民謡
◇吉川剛尚（下川手）文化芸術・演劇

市総合計画の諮問を受ける
第4回・第5回 松之山地域協議会開催

松之山地域協議会が11月と12月に開催されました。活動内容を紹介します。

市では現在「十日町市総合計画」の策定作業を進めています。松之山地域協議会でも、基本構想の中の「地域別の振興方針」と基本計画の中の「地域別の振興プロジェクト」について、策定作業にかかわっています。

11月10日㈭、第4回地域協議会が開催されました。この日は、第3回の会議で実施したワークショップの成果の整理を行いました。特に議論が集中したのが、農業のことでした。新市建設計画の中の松之山地域における整備方針には『農業』に関する記述がなかったため、総合計画では松之山の基幹産業である『農業』についての記述を盛り込むように総合計画策定事務局に提言することになりました。

12月12日㈪の第5回協議会では、「地域別の振興方針」と「地域別の振興プロジェクト」について市長から正式な諮問がありました。そして、この諮問に併せて本庁総合政策課から基本構想の全体についての説明があり、委員から「リゾート」や「利雪」などについてさまざまな質問や意見が出されました。

諮問事項のうち、地域別の振興方針については1月上旬が答申期限となっているため、1月の会議では答申内容を決定する予定です。

かわにし新聞

川西支所
☎768-3111

総合計画地域別振興方針を答申
川西地域の振興方針を答申

12月7日㈬、第5回川西地域協議会が開催され、現在、市が策定を進めている総合計画のうち、基本構想「地域別の振興方針」について、市から諮問を受けました。

会議ではまず、田村支所長から総合計画策定の趣旨について説明があり、諮問書が押木久之川西地域協議会会長に手渡されました。その後、市担当から総合計画（基本構想）の試案について説明を受けました。引き続いて質疑応答を行い、答申について協議を行いました。

その結果、諮問を受けた「地域別の振興方針」については、これまでの協議会でワークショップにより検討を重ね、まとめ上げたものを全会一致で答申することとしました。

協議会がまとめた川西地域の振興方針は次のとおりです。

田村支所長から諮問書を受け取る押木会長

川西地域の地域別振興方針

川西地域は、人と自然が共生した生活環境を優先した地域づくりを進めていき、循環型・環境保全型農業における先進地的な役割を果たすことを目指している地域です。また、積極的なボランティア活動を通して、本市におけるボランティア活動の先進地としての役割を担う地域でもあります。

本地域では、住民と地域、企業などとの連携により、人と自然との共生や安心・安全な生活に配慮した取り組みを進めます。

第20回かわにし雪まつり情報 No.2

かわにし雪まつりは、3つのテーマから構成されています。その1つに「大きな川西らしい目玉イベント」が掲げられています。このテーマを達成するための企画として「Ｐｉｅｃｅ ｔｏ Ｐｅａｃｅ（ピースtoピース）」があります。

これは、1つの小さな力がたくさん集まって大きな力となることを行動と作品で表現する、川西地域民の特徴を生かした企画です。1人でも多くの参加が求められるこの企画は、平和や環境保全といった意味も込められており、壮大な取り組みとなります。今回の第3弾では、どんな作品をお披露目できるか、乞うご期待！

【第1弾：みんなで創ろう Piece to Peace】

町中の人たちの顔写真1枚1枚（Ｐｉｅｃｅ）をつなげて平和へのメッセージ（Ｐｅａｃｅ）を込めた、3、966枚からなる巨大な壁画を創作しました。

【第2弾：Piece to Peace ～希望へのかけ橋～】

「中越大震災からの復興」「将来の夢・希望」などを文字や絵に表現したカラーセロファン8、153枚をビニールパイプハウスに貼り、光のプロムナードを創作しました。カラーセロファンは、川西地域を越え、全国各地から寄せられました。

【第3弾：タイトル未定】

不要になったチラシやカレンダーで巨大なクラフトを創作します。1人ひとりのカケラ(Ｐｉｅｃｅ)を組み合わせて、どんな平和の形（Ｐｅａｃｅ）に仕上がるでしょうか。3月5日㈰の本まつりが楽しみです。

問合せ
かわにし雪まつり実行委員会事務局 ☎768－4951

ときめきネットワーク ⑦

佐藤利昭さん
1981年生まれ
十日町地域消防署南分署勤務

前回の藤ノ木かほるさんからバトンタッチ

消防士は自分を生かせる仕事です

自分の持っているものを生かせる仕事がしたくて、消防士を目指しました。中学まではクロスカントリースキーを、高校・大学ではやり投げや円盤投げなど陸上の投てき競技をしていたので、筋力・体力には自信があります。

半年間の消防学校を経て一昨年10月に南分署に配属されました。何をするにも法令が関係することを経験し、社会人になったことを実感しました。思っていた以上に事務も多かったですね。分署は一人何役もこなさなければなりませんが、まだ慣れないので大変です。

昨年5月、初めて火災現場に出動しました。現場に向かう車内ではテンションが上がり、頭の中をいろいろなことが駆け巡りましたよ。緊迫した状況の中、とにかく無我夢中で燃え盛る赤い炎をめがけて放水しました。

消防士になって1年、少しずつですが人々の役に立っているという達成感を味わっています。反面、消防士としての使命感もひしひしと感じます。後輩が入って気合いも入りますね。絶対に追い抜かれたくないですから。

これからさまざまな経験を積んでいきたいです。そして将来、隊員を引っ張る立場に立ったとき、それまでの経験を生かせるようになりたいですね。

ここにムラあり ⑬

山平地区（旧松代町）

- 田野倉
- 仙　納
- 莇　平
- 寺　田
- 名　平
- 蒲　生
- 儀　明

「ぶなの林の　風ひかる…」蒲生小学校々歌です。歌い出しに表れるように、校舎全体をブナ林が囲みます。山平地区のほぼ中央にある蒲生小学校。昭和54年、閉校した山平中学校が早稲田大学に譲渡されたのをうけ、蒲生小学校も平成5年の閉校以降、同大学の校外施設として利用されています。

「菱が高嶺の　朝日影…」校歌2番の歌い出しに想いを綴るのは、小堺清・純子（すみこ）夫妻（蒲生）。「校舎から遠くに菱が岳や焼山、妙高山が見えたぁで。朝日に輝く山は雄大だっけの」。お二人とも蒲生小学校の卒業生。ご主人が4年生、奥さんが2年生だった昭和22年、同校に校歌が贈られました。

作詞・市川牧人（俊雄）、作曲・山田耕筰。市川さんは、十日町小学校などの学校長や松代村長、県議会議員を歴任し、多くの学校歌も手がけました。

昭和21年、蒲生集落の民家に、小堺浩さん、市川俊雄さん、田中信正さんが集まり、蒲生小学校々歌を作ることを決めました。作詞は市川さんが、作曲は田中さんのってで山田耕筰先生にお願いすることができました。山田先生は、詩の叙情や地域の特徴から優しさと悠揚あるメロディを譜面に記し翌22年、楽譜が届けらました。

早速、騒然とする講堂でメロディが奏でられました。当時、ピアノで演奏した柳キノさん（松代）は、「校歌ができたことがとてもうれしくて、夢中で練習しました。山田先生の曲が弾けるなんて信じられませんでした」。練習のあと間もなく、校歌は児童たちの明るい声で校内に響き渡りました。

それから46年、ブナも育ち、遠くの山々は見えなくなりましたが、校歌は蒲生小学校の宝物として歌い継がれ、学童の成長を見守ってきました。

蒲生小学校校歌楽譜

あいどるキャッチ 7

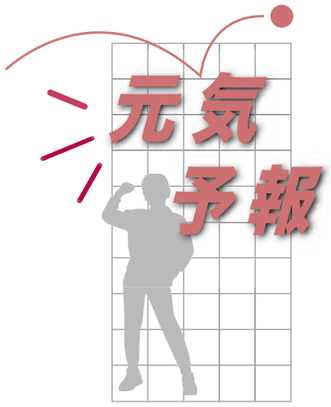
庭野　利歩ちゃん
にわの　りほちゃん
平成15年12月16日生まれ
江道

ババんちでぬいぐるみのミッフィーと遊んだり、テレビを見て踊ったりしてるんだ。あんぱんまんと「英語であそぼ」が好きなんだよ。3姉妹の末っ子でちょっとはずかしがりのりほちゃんです。

福原　健太ちゃん
ふくはら　けんたちゃん
平成14年4月5日生まれ
小谷

保育園の発表会のときペンギンサンバ踊ったんだ。楽しかったよ。大きくなったらマジレッドになりたいな。お友だちとブロック遊びや、マジレンジャーごっこをするのが大好きなけんちゃんです。

元気予報



問合せ　健康支援課母子保健係 TEL757-3111（内線121）

上手な小児科のかかり方

新潟県十日町保健所長　阿部俊幸

全国的に、小児科医の不足などによる小児医療の危機が叫ばれています。十日町地域の15歳未満人口一万人当たりの小児科医数（平成14年）は、4・0人と県平均7・3人に比べて大変少なく、県内13圏域中2番目に小児科医が少ない地域です。

当地域は十日町病院小児科を中心に診療体制は確保されていますが、今後もこの体制を維持するためには保護者の皆さんから上手な小児科のかかり方を知っていただくことも必要です。

外来受付時間に受診

小児科を受診するときは、検査体制などがより充実している通常の外来受付時間に受診しましょう。大人の都合などにより夜間外来を受診するということは論外です。

体温を正しく計測・記録

小児科で最多の訴えは発熱です。子どもの場合、一般に37・5度以上を発熱とみなします。

子どもが発熱したら、保護者はまず正しく体温を測り記録しましょう。電子体温計では測定完了音が鳴るまで、水銀体温計では5分以上測ってください。できれば朝・昼・晩の3回、測定した時刻とともに記録し、医療機関に渡しましょう。

何でもないときに子どもの体温を測り、平熱を把握しておくことも有効です。

解熱剤の使用は慎重に

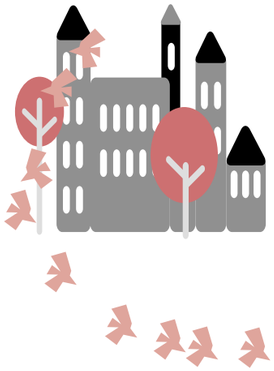
発熱自体は子どもの健康に害はなく、一般に高熱が脳に障害を残すことはありません。市販の解熱剤の使用は極力控えましょう。特に、大人用の解熱剤は子どもに重大な副作用を生ずるものがあるので絶対に使用しないでください。解熱剤は38・5度以上で眠れず安静が保てない場合などに用いてください。

発熱に加え、意識障害（刺激を与えても起きない、起きてはいても反応がいつもと明らかに違ってぼんやりしているなどが睡眠との違い）、けいれん、強い頭痛・腹痛、呼吸困難、チアノーゼ（唇やつめなど粘膜や皮膚が青色や青紫色になること）を伴う場合は夜間でも小児科を受診する必要があります。

子どもが発熱したら、十分に水分をとらせ、たくさん汗をかかない程度に保温し、安静を保たせましょう。子どもの発熱に対しては、以上を参考に冷静かつ適切に対処しましょう。

走り初めは十日町新雪マラソン大会

第27回十日町新雪ジョギングマラソン大会（新座地区体育協会主催）が１月２日（振替休日）に開催されました。昨年の第26回大会は地震の影響などから中止となったため２年ぶりの開催です。十日町中学校発着の４部門に県内外から約400人が参加。小雨が降る中「がんばってます十日町」「支援感謝」と書かれたゼッケンを胸に健脚を競いました。10㎞男子の部で優勝した田村英晃選手（十日町高２年）は、「大雪で足元がきつかったけど、お正月のいい練習です」と話していました。優勝者は次の通り。▼**３㎞男子**：小島翔吾・**女子**：山口美紀▼**５㎞男子**：大橋城・**女子**：小林優香▼**10㎞女子**：鈴木晴美▼**ハーフマラソン男子**：藤沢聡志・**女子**：高村まゆみ　※敬称略



まちの話題 TOWN TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、総務課広報広聴係（☎757―3111内線213）へ、お気軽にお寄せください。

元旦卓球で全国交流

１月１日（元日）、新十日町市誕生記念「第21回川西オープン元旦卓球大会」が川西総合体育館で開催されました。これは、十日町市（旧川西町）卓球協会（渡辺一治郎会長）の主催で毎年開かれているもので、元旦の恒例行事として定着しています。「元旦からスポーツで交流しよう」（渡辺会長）と、広く声かけをしたところ、関東・関西を含む市内外から約180人が参加し熱戦が繰り広げられました。

東京都小平市から参加した戸辺春希さん（11歳）は、「お正月から卓球ができてうれしいです。優勝をねらいます」とラケットを握りしめて試合にのぞみました。

救急車が寄贈されました

12月21日㈬、高規格救急自動車が十日町地域消防本部に寄贈されました。㈳日本損害保険協会が、自動車事故の被害者救済支援として毎年行っているものです。同車は、心肺停止状態の傷病者などに対し、救急救命士が医師の指示のもと車内において特定行為を行うことができる車両で、すでに１台は本署に配置してあり、２台目となる今回は南分署（津南町）に配置されることになりました。今後の効果的救急活動が期待できます。

公の施設の指定管理者を募集します

市が設置する公の施設を市に代わって管理運営できる指定管理者制度が施行されています。この制度は、市が指定する民間事業者などに施設の管理業務を代行していただくものです。民間事業者などのノウハウを活用しつつ、住民サービスの向上と管理経費の縮減を図ることを目的としています。

次の５施設の指定管理者を募集します。

募集期間　１月10日㈫～23日㈪
業務内容　設置目的による施設の維持管理業務及び受付・利用許可に関する業務ほか
応募資格　施設を適切に管理・運営できる民間事業者（法人または団体）
応募方法　募集要項・提出書類などは各施設担当課に配置
指定期間　18年４月１日～23年３月31日（予定）

施　設　名	所　在　地	設　置　目　的	申請書提出先・問合せ
斎　場（火葬場）	南鐙坂1842番地9	火葬業務を行う施設	環境衛生課庶務係 ☎752-3924
老人福祉センター「羽根川荘」	丁82番地（田麦）	健康増進・教養向上及びレクリエーションのための施設	福祉課高齢福祉係 ☎757-3111 （内線144）
老人福祉センター「平成園」	馬場乙512番地1（馬場１）		
松代生涯学習センター	清水718番地（清水）	市民に生涯学習の場を提供する施設	教育委員会松代事務所 生涯教育係 ☎597-2301
まつだい雪国農耕文化村センター	松代3743番地1ほか （松代）	松代地域における里創プラン推進施設	松代支所地域振興課 商工観光係 ☎597-2220

平成18年度採用 十日町市職員募集

▼募集職種・人数
土木中級・若干名

▼受験資格
学校教育法による大学・短期大学・高等専門学校・専門学校の土木専門課程卒業者（来春卒業見込者含む）で昭和45年４月２日以降に生まれた人（採用日前日で36歳に達しない人）

▼試験方法
【第１次試験…筆記試験】
期日　２月12日㈰　**会場**　十日町市役所
科目　教養・専門・適性試験、作文
【第２次試験…面接試験】
期日　２月26日㈰予定　**会場**　十日町市役所
※詳細は第１次試験合格者に直接通知

▼申込み
土・日曜日、祝日を除く１月31日㈫までの午前８時30分～午後５時15分に、必要書類を総務課人事係に提出
※持参する場合は本人以外でも可
※郵送の場合は１月31日㈫必着

▼必要書類
職員採用試験申込書、卒業証明書（卒業見込証明書）、成績証明書（来春卒業見込者は最近までのもの）、返信用切手（80円切手２枚）
※申込書は総務課人事係に配置、市ホームページにも掲載
※申込書類は返却しません

▼給与（初任給）
短期大学（専門学校）卒業の場合　148、000円
※17年12月１日現在、受験資格取得直後に採用の場合

▼問合せ
総務課人事係☎757―3111（内線212）

GUIDE
お知らせ・ガイド
市役所 TEL 757-3111

GUIDE 催し

キナーレ明石の湯 けんこつ体操教室

転倒予防・寝たきり予防に、筋肉や骨、脳を刺激し、体を鍛える運動です。冬場の運動不足解消にもなります。温泉に入りがてら、健康を目指しましょう。●**日時**＝1月19日～3月30日の毎週木曜日午後2時～3時（2月16日と3月2日を除く9回シリーズ）●**会場**＝キナーレ明石の湯●**参加費**＝無料※明石の湯入館料500円（70歳以上400円）が必要●**問合せ**＝キナーレ（☎752―0117）

ビデオ上映会 雪国木羽屋根物語

かつて松之山に数多く存在した、木羽葺きと呼ばれる薄割にした木の板で葺かれた木羽屋根民家。平成16年9月から17年2月にかけて、材料の木羽作りから屋根を葺き上げるまで木羽屋根を修理する様子を収録したビデオは、今となっては大変貴重な映像です。●**日時**＝1月21日㈯午後1時30分～●**会場**＝松之山自然休養村センター●**入場料**＝無料●**問合せ**＝松之山公民館（☎596―2265）

第4回妻有演劇まつり

日ごろ演劇にふれる場面が少ない昨今、この機会にぜひ多くの演劇をご覧ください。テレビや映画とは違う、迫力ある生の演技が目の前で繰り広げられます。●**日時**＝1月28日㈯・29日㈰午後2時～●**会場**＝市民会館●**入場料**＝無料●**出演団体・演目**＝28日：六日町高校演劇部「ロミオとジュリエット」、十日町高校演劇部「改善の余地なし」、小千谷高校演劇部＆小千谷西高校演劇部「夢の中で」、29日：小出高校演劇部「真夏の夜の夢～小出高校ヴァージョン～」、塩沢商工高校演劇部「銀河鉄道によせて」、劇団御の字「暗闇から手を伸ばせ06」●**問合せ**＝中央公民館（☎757―5011）

体験交流研修会 ～農家民宿開業のすすめ～

農家民宿とどぶろく製造や市民農園などを組み合わせ、農村の新しいビジネスとして取り組んでいる事例を紹介しながら、農家の新たな可能性を探っていきます。●**日時**＝1月31日㈫午後1時30分～4時30分●**会場**＝クロス10●**入場料**＝無料●**その他**＝農家民宿開業に向けた個別相談会も併せて実施します。希望者は問合せてください●**申込み・問合せ**＝十日町地域振興局企画振興部（☎757―5517）

震災復興コンサート てんてこまいからドンドコドン

県では中越大震災の被災住民を激励するため文化交流コンサートを開催します。●**日時**＝2月4日㈯午後1時～●**会場**＝市民会館●**入場料**＝無料※事前申込みが必要●**出演**＝赤倉神楽・火焔太鼓（以上十日町市）、芦ヶ崎龍神太鼓（津南町）、栄太鼓（長野県栄村）、豊年獅子舞（小千谷市）、山古志大久保神楽（長岡市）、蘭燃、鼓童のメンバー●**申込み**＝中央公民館（☎757―5011）●**問合せ**＝十日町地域振興局企画振興部総務課（☎757―5515）

屋外広告物講習会

屋外広告業を営む者は、屋外広告物講習会修了者などの設置が必要です。新潟県と新潟市では、屋外広告物講習会を開催します。●**日時**＝2月14日㈫午前9時20分～午後5時●**会場**＝新潟県自治会館（新潟市）●**受講手数料**＝3,500円●**内容**＝屋外広告物に関する法令、施工、

フィットネス やってみようディ！

申込み・問合せ 総合体育館（☎752―4377）

総合体育館では、運動経験がない人でも安心して楽しく体力づくりができるよう、教室や無料体験講座を開催しています。下記講座の4期参加者を募集中です。

	ソフトエアロビクス教室【1コース10回】	エアロビクス教室【1コース10回】	けんこつ体操教室【1コース8回】
内容	足腰への負担の少ない運動で、高齢者や初めての人でも安心して参加できます。【対象＝15歳以上、中学生不可】	初心者から慣れてきた人を対象に、徐々にレベルをあげていく基本的な教室です。【対象＝15歳以上、中学生不可】	寝たきりにならないように、筋肉や骨、脳を刺激し、体をきたえる運動をします。【対象＝おおむね50歳以上】
4期開催期間	1月16日～3月20日	1月19日～3月23日	1月20日～3月10日
時間	月曜日【昼】午前10時～11時15分	木曜日【夜】午後7時30分～8時45分	金曜日【昼】午前10時～11時15分
費用	参加費（1コース分）2,000円		参加費1,500円
	施設使用料（毎回）200円または定期券 ※1か月以上の定期券をお持ちの人は参加費のみ		

ボイラー取扱技能講習

免許を必要としない小規模ボイラーの取扱業務に従事する資格取得のための講習です。講習修了証取得後4か月以上小規模ボイラーの取扱経験があると、2級ボイラー技士の受験資格が生まれます。●**日時**＝2月22日㈬・23日㈭午前9時～午後6時●**会場**＝新潟県トラック総合会館（新潟市）●**受講料**＝8,000円●**定員**＝先着50人●**申込み・問合せ**＝申込書に受講料（現金または郵便小為替）と講習修了証送付用の封筒（受講者の住所・氏名を記入し80円切手をはったもの）を添えて、㈳日本ボイラ協会新潟支部（〒950―0965新潟市新光町6―4トラック総合会館4階☎025―280―0100）に提出

GUIDE スポーツ

市民スキー選手権大会

【アルペン競技】●**申込み・問合せ**＝2月3日㈮までに、新潟市都市整備局開発建築部街づくり推進課（☎025―228―1000）●**日時**＝2月5日㈰午前8時受付開始●**会場**＝上越国際当間スキー場●**参加資格**＝市内及び津南町在住・在学・在職者●**競技種目**＝▼**大回転**：①小学3年以下男女②小学4年男女③小学5年男女④小学6年男女⑤中学男女⑥24歳以下男子⑦34歳以下男子⑧44歳以下男子⑨45歳以上男子⑩高校生以上女子●**参加費**＝1,000円（リフト代別途）●**申込み締切り**＝1月20日㈮

【クロスカントリー競技】●**日時**＝2月12日㈰午前7時30分受付開始●**会場**＝吉田クロスカントリーコース●**参加資格**＝市内在住・在学・在職者●**競技種目**＝▼**個人**：①小学2年以下男女1㎞②小学3年男女2㎞③小学4年男女2㎞④小学5年男女3㎞⑤小学6年男女3㎞⑥中学男子5㎞⑦中学女子3㎞▼**スプリントリレー**（3人×1㎞を2回）：①中学男子②中学女子③小学男子④小学女子●**参加費**＝1,000円、リレー1チーム1,000円●**申込み締切り**＝1月20日㈮

【共通】●**申込み・問合せ**＝参加費を添えて、申込み用紙を総合体育館（☎752―4377）に提出

GUIDE 募集

18年度市奨学生募集

市教育委員会では、18年度の市奨学生を募集します。●**応募資格**＝18年度に高等学校、高等専門学校、専修学校、短期大学、大学に進学予定か在学中で、次のすべてに該当する人①保護者が十日町市に3年以上住所を有し、市税を滞納していない人②学業成績が優秀と認められる人③経済的な理由で学資の支払いが困難な人●**奨学金月額**＝▼高等学校：10,000円▼高等専門学校：20,000円▼専修学校：30,000円▼短期大学・大学：35,000円●**貸与期間**＝18年4月から在学する学校の最短終業年限の終わりまで●**提出書類**＝①奨学金等貸与願書（市ホームページから入手可）②在学（卒業）学校長の推薦書③成績証明書④住民票謄本⑤医師の健康診断書⑥17年度市県民税所得課税証明書（世帯全員が載っているもの）⑦連帯保証人を内諾している人の納税証明書⑧同一世帯に高校生以上の学生がいる場合、その学生の学生証の写し⑨専修学校希望者はその学校要覧など●**その他**＝修学一時金希望者も若干名募集します（高校20万円～大学50万円、願書は奨学生と兼用）●**申込み・問合せ**＝2月28日㈫までに、教育委員会学校教育課（内線314）※3月下旬に奨学生を内定し、月末までに応募者に通知します

十日町市高等職業訓練校 18年度生徒募集

能力開発をバックアップ。全教科とも国家資格を持った経験豊かな講師が指導にあたります。●**科目**＝▼専修課程：建築製図科▼技能向上コース：コンピュータ科、ワープロ科（ワード入門・応用）、表計算科（エクセル入門・応用）、経理事務科、測量科●**申込み・問合せ**＝土・日曜日、祝祭日を除く3月10日㈮までの午前8時30分～午後5時に、入校申込書と証明写真を十日町市高等職業訓練校（☎752―3803）に提出

第57回十日町雪まつり コミュニティひろば 雪上結婚式参加者募集

第57回十日町雪まつりコミュニティひろば（十日町高校グラウンド）で行われる「雪上結婚式」に参加していただける新婚の夫婦または結婚を予定しているカップルを募集します。●**日時**＝2月18日㈯午前11時～正午●**会場**＝コミュニティひろば内「雪上茶室」●**参加費**＝無料●**定員**＝1組●**申込み・問合せ**＝1月23日㈪までに、㈳十日町青年会議所（十日町商工会議所内☎757―5111）

国有林モニター募集

●**依頼期間**＝18年4月～19年3月●**募集人数**＝70人※応募者多数の場合は抽選●**対象**＝国有林に関心のある成人●**内容**＝定期的に届く国有林広報紙やイベント情報などに基づき、アンケートの回答や意見・提言の提出●**申込み**＝1月31日㈫まで（当日消印有効）に、はがきまたは封書に①氏名（ふりがな）②性別③生年月日④年齢⑤職業⑥住所⑦郵便番号⑧電話番号⑨国有林モニターを知ったきっかけ⑩応募の理由（100字程度）を記載して関東森林管理局企画調整室（〒371―8508群馬県前橋市岩神町4―16―25）に提出●**問合せ**＝中越森林管理署（☎025―772―2143）

18年度第1学期（4月入学）放送大学学生募集

いつでも、どこでも、だれでも学べる放送大学。テレビとラジオで授業を行う通信制大学・大学院です。●**募集学生・学費**＝▼教養学部：全科履修生（卒業を目指す学生）22、000円、選科履修生（1年間在学する学生）8、000円、科目履修生（1学期間在学する学生）6、000円▼大学院：修士選科生（1年間在学する学生）16、000円、修士科目生（1学期間在学する学生）12、000円●**募集期間**＝2月28日㈫まで●**資料請求・問合せ**＝放送大学新潟学習センター（☎025―228―2651）

GUIDE 税

平成17年分雑損控除の申告説明会

災害で住宅や家財などに被害を受けた人で、平成17年中に住宅などを復旧した場合、確定申告で雑損控除の適用により、所得税の全部または一部が軽減される場合があります。確定申告期間中、会場は大変混み合います。この機会をぜひご利用ください。●**日時**＝1月27日㈮・30日㈪午前10時～・午後1時30分～●**会場**＝クロス10●**雑損控除対象者**＝①17年中に住宅などを修復して支払った金額が、16年分の確定申告で計算した資本の本体損失を超える場合、その金額が5万円を超える人②住宅の取り壊しなどを行い、17年中に支払った金額が5万円を超える人●**問合せ**＝十日町税務署個人課税部門（☎752―3181）

GUIDE 福祉健保

「はたちの献血」キャンペーン実施中

1月・2月の2か月間、「はたちの献血」キャンペーンが行われています。献血者が減少しがちな冬季に献血者を確保するため、新たに成人となる「はたち」の若者を中心に、広く献血を呼びかけています。人の命を助ける血液は、人工的に作ることができません。県内では、4か所の献血ルームのほか、献血バスでも献血を行っています。皆さんの善意の献血をお願いします。●**献血ルーム・実施日**＝長岡きたまち（長岡市）・東掘（新潟市）・ばんだいゆとりろ（新潟市）は毎日、高田出張所は毎週火曜日●**問合せ**＝健康支援課地域医療係（内線127）

小児救急医療休日夜間無料電話相談

県では県医師会・小児科医会の協力を得て、休日の夜間に子どもの医療に関する電話相談を受け付けています。すぐに病院に行けないときなど、適切なアドバイスが受けられます。●**実施日時**＝土・日曜日、祝日の午後7時～10時●**相談電話番号**＝☎025―288―2525●**相談料**＝無料●**問合せ**＝健康支援課地域医療係（内線127）

GUIDE その他

「中小企業者の災害融資利子補給事業」の申請手続きをお忘れなく！

次の融資を利用した事業所に対して、17年12月31日までの支払利子にかかる利子補給があります。ただし、市町村からの利子補給額が控除される場合があります。●**利用融資**＝①県の平成16年新潟県中越大震災災害融資②政府系金融機関の災害融資（金利軽減措置適用分）③市の中越地震災害緊急特別資金●**申請期限**＝2月28日㈫●**問合せ**＝産業振興課商工振興係（内線238）

盲導犬を見かけたら

盲導犬（アイメイト）は視覚障害者の目の代わりをして歩行の安全を助ける犬です。盲導犬を見かけても、さわったり声をかけたり、食べ物を与えたりすることは絶対にしないでください。盲導犬として機能しなくなります。●**問合せ**＝市民生活課生活環境係（内線157）

国の金融ローン

国民生活金融公庫長岡支店では、高校や大学、専修学校、各種学校などの入学や在学中の経済的負担を軽減するため、「国の教育ローン」を取扱っています。●**利用できる人**＝世帯の年間収入が990万円（事業所得者は770万円）以内の保護者●**融資限度額**＝200万円（学生・生徒一人あたり）●**金利**＝年1・55％（17年11月10日現在）●**融資期間**＝10年以内（交通遺児家庭・母子家庭の人は1年の延長可）●**返済方法**＝毎月元利均等払（ボーナス併用払可）●**申込み・問合せ**＝国民生活金融公庫長岡支店（☎0258―36―4360）

平成21年までに裁判員制度が始まります

裁判員制度は、国民が裁判員として刑事裁判に参加し、被告人が有罪かどうか、また有罪の場合はどのような刑にするかを裁判官といっしょに決める制度です。裁判員制度をより理解するためのさまざまな活動をご利用ください。●**内容**＝①出前教室プログラム（職員が出向いて制度を説明）②広報用ビデオ・DVD貸出●**申込み・問合せ**＝新潟地方検察庁企画調整課（☎025―222―1524）

1月は食を考える月間

「食」について考えたことがありますか。農林水産省では、平成15年から毎年1月を「食を考える月間」とし、食に関するさまざまな情報の発信イベントを開催するなど、広く食について考えていただくための取り組みを進めています。北陸農政局管内でも18年1月にさまざまな取り組みを予定しています。●**問合せ**＝北陸農政局新潟農政事務所地域第五課（☎025―792―8211）

85年～92年製のナショナル石油温風機・ヒーターは事故に至る危険性があります

1985年～1992年製のナショナルFF式石油温風機・石油フラットラジアントヒーターは、事故に至る危険性があります。当該対象製品を未点検のまま使用すると、一酸化炭素を含む排気ガスが室内に漏れ出し、場合によっては死亡事故に至る恐れがあります。使用している品番をホームページ（http://national.jp/）などで確認し、当該対象製品を使用している人は直ちに使用を中止するとともに松下電器産業㈱または購入販売店まで連絡してください。●**問合せ**＝松下電器産業㈱（☎フリーダイヤル0120―872―773）

市報配送遅れのおわび

市報とおかまち「だんだん」12月25日号ほか配布物の市政事務嘱託員への配送が、一部の地域で大幅に遅れてしまいました。嘱託員の皆様並びに各ご家庭でお待ちいただいた皆様に深くおわびします。大雪のために特に市街地街路や国道が渋滞し、宅配業者の配送車が動けなかったことが主な原因です。今後、再びこのようなことにならないよう注意いたします。●**問合せ**＝総務課広報広聴係（内線213）

寄付ありがとう

12月25日届出分まで（敬称略）

●**十日町市へ**＝㈱ファースト・オン・ステージ　プロレスリングゼロワンマックス（115,270円）十日町市民謡協会・十日町市舞踊協会（200,000円）中魚沼十日町仏教会（500,000円）十日町農業協同組合（129,956円）本町クリニック（歩行器2台）

●**地域福祉基金へ**＝厚生連中条病院患者会（5,650円）

●**情報館へ**＝池田マツヨ（北原）小川公巴（本町4）北越保育園父母の会、トーア株式会社

●**博物館へ**＝大島寿子（川原町）

あけましたね

▼あけましておめでとうございます。▼暮れの記録的な豪雪がうそのように、お正月三が日は穏やかな天候に恵まれました。少しは連日の雪堀り疲れをいやすことができたのではないでしょうか。▼昨年8月から製作を進めてきた新市「市勢要覧」がもうすぐ完成します。100ページを超える要覧の中には新十日町市の魅力がぎっしり。郷土料理レシピの別冊本も付いて、家族みんなで楽しめるものになったと思います。今回は合併記念として、1月25日号の市報といっしょに市内全世帯に配布されます。どうぞお楽しみに。▼今年こそ災害の無い平穏な年になるよう願いつつ、市報「だんだん」共々よろしくお願いいたします。

（優）

▼「何となく、今年はよい事あるごとし。元日の朝晴れて風無し。（石川啄木）」…元日に広がった青い空は、大雪で疲れた人々の心をいやしてくれるすばらしいものでした。そして、今年は本当に何か良いことが起きるんじゃないかと感じました。まさに、束の間の休息。いつもよりずいぶん早く白魔に襲われた人々への、お正月のプレゼントでした。それにしても、昨年12月中旬から降り続いたこの大雪は、本当にすごかったですね。年末年始のあいさつ、そして交わす言葉には、「それにしてもごうぎだね」「いつになっても降り止まねえね」が必ず頭に付きました。今年は、「この大雪を超える大きなできごとや大雪が過去のことに感じるすばらしいできごとに数多く巡り合えることを期待します。今年もよろしくお願いします。

（玉）

千手中央コミュニティセンターの使用予約を開始します

川西支所前で建設工事が進む千手中央コミュニティセンターは、4月6日㈭に開館予定です。1月16日㈪から、使用を希望する人・団体の予約申込みを受け付けます。

今回の予約受付は、ホール（舞台含む）は10月末までの使用、ホール以外の部屋は4月分の使用に限定したものです。この期間以降の使用は、ホールは使用希望日の10か月前から、ホール以外の部屋は3か月前から予約することができます。

施設使用には、使用料が必要となります。市の外郭団体、社会教育関係団体、PTA関係、非営利的団体、公民館利用登録団体などが使用するときは使用料が免除される場合があります。

千手中央コミュニティセンター

開館時間　午前9時～午後10時

休館日　毎週火曜日ほか

設備・その他

・販売などの営業目的活動に使用することも可能です。

・ホールは音響反射板装置、照明設備、音響機器、スタインウェイ（ドイツ製）グランドピアノなどを備えています。

・ホールは飲食を伴う会合に使用できます。

申込み・問合せ　教育委員会川西事務所☎768-2167

■発行/十日町市役所 〒948-8501 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地 TEL.025-757-3111 FAX.752-4635
E-mail info@city.tokamachi.niigata.jp URL http://www.city.tokamachi.niigata.jp ■編集/総務課広報広聴係

ジュニア芸術祭 7

仙田小学校

ぼくがわらったかお

南雲太壱さん（1年）

自分が笑った顔を、かがみを見ながらかいたよ。まわりはいろんな色にして、きれいになったよ。みんなに見てほしいな。

カブト虫

中條大貴さん（2年）

紙ねんどでカブト虫を作ったよ。クワガタと対決してるんだ。カブト虫はキングだから大好きだよ。いつも応援してるんだ。

ガラスのふうりん

高橋慎吾さん（3年）

工作クラブでふうりんを作ったんだ。細かいガラスはボンドでくっつけて、赤いひもにはビーズを付けたよ。「カランカラン」て鳴るかな。

赤谷の大けやき

中條　渉さん（4年）

写生大会で赤谷の大けやきをかきました。とにかくでっかくかきました。これより大きい木は、ほかに見たことがありません。

のこり物で工夫ずし

長谷川みなみさん（5年）

発泡スチロールですしを作りました。全部、家族が好きなネタです。私は玉子とイクラ。イクラはセロハンテープでツヤを出しました。

森の中のフラワー牧場

南雲淳美さん（6年）

自分で考えた花いっぱいの牧場です。紙ねんどの馬とつまようじのさくは上手にできました。今までで一番うまくできた作品です。

市民の動き

■人　口　63,454人（−50）　男　31,111人（−32）　女　32,343人（−18）
■世帯数　19,856世帯（−3）　12月末現在（　）は前月からの増減